



第22号

みなと新聞

YATSUSHIRO

八代港港湾振興協会
Yatsushiro Port Promotion Association

当協会のシンボルマークは、平成16年2月に多数の公募作品の中から選ばれました。「輝かしい未来を目指す笑顔」と題し、人びとや八代海で生きる生きものたちの笑顔を表現しています。「錨」をデザイン化した笑顔、輪郭の「舵」は太陽のイメージを表現しています。

熊本県内最大の港で働く魅力を発見 「みなとのおしごと見学会」



▲(株)津田 八代工場

バスに乗り込み、リサイクルから生み出される固形燃料について話を聞いた後、木材の粉碎作業を見学。



▲パシフィックグレンセンター(株) 八代支店

海外から運ばれてきた穀物が家畜のエサとなり食卓に届くまでの流れについて話を聞いた後、高さ40mのサイロの上から八代港を見学。



▲八代港コンテナターミナル

指定管理者の松木運輸(株) から説明を受けながら、荷役作業の見学やリーファーコンテナでマイナス30度を体験。

令和4年8月19日、市内の小学生を対象とした「みなとのおしごと見学会」を八代港湾地区内で開催しました。

この見学会は、労働者不足が問題となる中、将来の担い手となる小学生やその保護者に、八代港の役割や重要性・港湾関連企業の魅力を知ってもらうとともに、興味を持ち関心を深めてもらうことを目的として企画したものです。

参加者はバスに乗り、株式会社津田八代工場、パシフィックグレンセンター株式会社八代支店、八代港コンテナターミナルの3カ所を見学。リサイクルの仕組みのほか、海外から入港する船や物流、ガントリークレーンの見学等、八代港湾地区内企業の仕事について学びました。

【企業特集】

令和4年8月19日「みなとのおしごと見学会」開催にあたって

表紙でご紹介した今回の見学会は、「株式会社 津田八代工場」、「パシフィックグレーンセンター株式会社 八代支店」、「八代港コンテナターミナル」のご協力のもと、参加者の皆様から大変ご好評をいただきました。

ここでは、各社から仕事内容（やりがい・面白さ）と見学会を受け入れてみてどうだったか、見学会に参加された方からのご意見・ご感想を紹介します。

株式会社津田 八代工場 (HP <https://tsuda-eco.jp>)



仕事内容 (やりがい・面白さ)

私達の仕事は、廃棄物（災害を含む）の収集運搬及び中間処理です。具体的には、廃棄物から石炭代替の固形燃料（RPF; Refuse Paper & Plastic fuel）の製造や、木くず等から地球環境に配慮したリサイクル事業を行っております。これらの活動は、持続可能な開発目標（SDGs）と同じ方向を目指すものであります。リサイクル事業と八代港を利用した大量輸送などを通じて地域社会の発展・復興に繋がることにやりがいを感じています。

見学会を受け入れてみてどうでしたか？

企業や市民の皆さんがゴミと言われている物は分別すれば資源だと言う意識付けを行い、それを当社内で実践し原料や燃料に変えていく様を、将来の担い手となる小学生やその保護者にお見せでき、分別の大切さを十分にお伝えできた見学会だったと思います。今回の体験が、発生抑制（Reduce; リデュース）・再使用（Reuse; リユース）・再生利用（Recycle; リサイクル）の啓発となり、家庭でのゴミ（資源）の分別実行に繋がることを期待しています。

パシフィックグレーンセンター株式会社 八代支店 (HP <https://pgcc.jp>)



仕事内容 (やりがい・面白さ)

日ごろ皆さんが食べている牛・豚・鶏などのエサ（配合飼料）となる原料の穀物は、商社によって大きな船で世界各地から日本に運ばれてきます。

私達はその船から穀物（ばら貨物）を荷役機械で荷揚げし、サイロで品質を保ちながら保管し、各飼料工場のニーズに合わせて出荷する仕事をしています。

あまり知られていませんが、食生活と密接に関係する社会にとって重要な役割を担っている会社の一つです。

見学会を受け入れてみてどうでしたか？

新型コロナの影響もあり久しぶりの見学会となりましたが、今回は親子で参加する形式となり受け入れ側としても貴重な体験ができました。

また、お子様だけでなく保護者の皆様にとっても、高さ約40mのサイロから見える八代港の風景や天草の島々といった眺望を満喫されたことかと思います。

当社の仕事内容を知ってもらえる良い機会ですので、今後も見学会を継続していただきたいです。

